

ごあいさつ



一般財団法人
全日本大学サッカー連盟
理事長

中野 雄二

「アットホームカップ2026 第23回インディペンデンスリーグ【同好会】」の開幕にあたり、ご挨拶申し上げます。

インディペンデンスリーグは、出場機会に恵まれない選手にも公式戦の場を提供することを目的として、2003年度にまずは体育会チームを対象に創設され、その翌年の2004年度より同好会を対象とした本大会がスタートしました。大会名にある「インディペンデンス」という単語には、自主・自立・独立の意味があり、選手がただ試合を行うだけでなく、審判、運営など主体的に学生自身が行っています。そのように主体的な行動が、本連盟の基本理念にある思いやりのこころや協調性・社会性の習得と自立した人間形成、各種の組織やグループをリードすることのできる人材の育成に繋がると考えています。

毎年エンジョイ志向である同好会の大会であるものの体育会に負けない非常にレベルの高い戦いを繰り広げており、今年度も素晴らしい試合が行われることでしょう。また冒頭でお伝えさせていただいたように運営、審判すべて学生が主体的に行っており、ピッチ内だけでなくピッチ外における学生の躍動する姿にも注目していただければ幸いです。そして、将来この大会でも経験を活かしスポーツや社会の発展に貢献できる人材として活躍されることを願っております。

最後になりましたが、長年にわたりご支援を賜っております特別協賛社のアットホーム株式会社様をはじめ、大会の開催にあたりご支援・ご協力をいただいておりますすべての関係者の皆様に、心より御礼申し上げます、開幕のご挨拶といたします。



公益財団法人
日本サッカー協会
会長

宮本 恒靖

スポーツの秋、アットホームカップ2026 第23回インディペンデンスリーグ【同好会】が開幕します。本大会は、大学サッカーの活性化と選手のプレー機会の創出を目的に2014年に創設され、今大会で第23回を迎えます。今年も各大学の学内戦を勝ち上がった32チームが、同好会サッカーの頂点を目指してしのぎを削ります。

この夏、北中米で開催されたFIFAワールドカップ2026では、皆さんと同じ世代の選手たちが世界の舞台に立ち、堂々とプレーする姿を見せてくれました。同世代の選手たちが世界のトップレベルに挑む姿を見て、もっと高いレベルを目指したいと思った人もいでしょうし、あらためてサッカーの楽しさを感じた人もいでしょう。

同好会には、競技志向の高い選手、生涯スポーツとしてサッカーを楽しむ選手、その両方を大切にする選手など、さまざまな考えや向き合い方があってと思います。その多様性を受け入れ、一人一人が自分なりの目標を持ってプレーできることが、この大会の大きな魅力だと思います。

本大会は、企画から大会運営までを学生が担っており、マネジメントやPR、リスク管理などを学ぶ場にもなっています。プレーする人、支える人、それぞれがサッカーを通じて得た経験や出会いをこれからの人生や社会の中で生かしてほしいと思います。

本大会に出場する選手の皆さんの素晴らしいパフォーマンスを期待するとともに、多くの人々に同好会サッカーならではの魅力が伝わる大会になることを願っています。

最後になりましたが、協賛いただいているアットホーム株式会社様、株式会社ミカサ様をはじめ、全日本大学サッカー連盟関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。



アットホーム株式会社
代表取締役社長

鶴森 康史

私どもアットホーム株式会社は、「Independence League【同好会】」の特別協賛を始めてから2026年で14年目となりました。本年も「アットホームカップ」の愛称のもと、本大会は勿論のこと、学内大会や理事会・運営委員会のサポートも含めて、微力ながら皆さんの活躍をお手伝いできることを大変嬉しく感じております。

本大会の大きな魅力は、チームのプライドをかけたハイレベルな戦いもさることながら、日々の鍛錬の中で築かれていく仲間との信頼、学生自らがリーグ運営を行うことで育まれていく主体性など、若い皆さんが成長していく姿に、この国の「明日」が垣間見られることです。皆さんがここで得る経験の一つひとつが、これから社会で活躍するための礎となっていきます。そして、社会人としての歩みを始めた時、それはきっと大きなアドバンテージになっていることでしょう。

当社におきまして、1967年(昭和42年)の創業以来、「調和(共生)」を企業理念の中心に据えて、働く仲間同士の信頼を最も大切にまいりました。様々な個性を持った人材が集まり、それぞれの持ち味を互いに尊重しながら助け合い、成長することで、しっかり社会に貢献しようと取り組んでおります。これからも、この国の「明日」を担う皆さんを応援・サポートしてまいります。

最後になりましたが、本大会に関係する全ての皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。